

連携医療機関の紹介 Vol. 35

当院の連携医療機関である先生をご紹介します。

◆松山リハビリテーション病院◆ 木戸 保秀 先生

所在地：松山市高井町1211番地

病院構成：6病棟(326床)

電話番号：089-975-7431

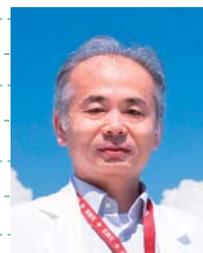
回復期リハビリ病棟入院料2(3病棟、160床)・障害

診療科：リハビリテーション科、内科、脳神経内科

者施設等入院基本料10:1(2病棟、116床)・地域包

休診日：土曜日、日曜日、祝日

括ケア病棟入院料2(1病棟、50床)



～地域に根差した歴史ある病院～

松山リハビリテーション病院は、道後平野の南東部にある郊外の住宅地と田園風景が周囲に広がり、四季折々の自然が溢れている場所に位置しています。

大正7年、創設者桑原寛一氏が「桑原医院」を開設し、如何なる相談もできる地域に根差した病院としてスタートしました。

昭和48年に「松山リハビリテーション病院」と改め、リハビリテーション専門病院として地域医療に貢献し、今年で101年を迎えることとなりました。

今後も松山市民病院をはじめ、各医療機関からの



ご紹介患者に対して生活向上のためのリハビリテーションが提供できるよう、努力していききたいと思います。また、法人内に介護老人保健施設「高井の里」、在宅事業部「東松山在宅ケアセンター」、「松山市地域包括支援センター小野・久米」を併設施設として有し、医療と介護の連携を重視した地域包括ケアの推進にも取り組んでおります。

松山市民病院には日頃から医療連携でお世話になっております。これからもよろしくお願いたします。



お知らせ INFORMATION

2018年医療安全標語 受賞作品

昨年11月25日～12月1日の「医療安全推進週間」に合わせて医療安全に関する標語を職員から募集しました。力作ぞろいの作品の中から、愛媛県看護協会「医療安全推進賞」と当院で厳選した「院長賞」を受賞した作品をご紹介します。

医療安全推進賞(看護部長 三笠照美)
「思いやる心のゆとりが事故防ぐ
信頼深まるチームの輪」



院長賞(4N病棟師長 泉君香)

「なにか変 気づいたときに 報連相」

院長賞(リハビリテーション室 曾我孝)

「したつもり 積もり積もって 事故の元」

院長賞(5S病棟 スタッフ)

「危ないなは 話し合いの タイミング」

病院救急車が 新しくなりました

患者さんの転院搬送などに出動している当院の救急車が新しくなりました。安心して利用いただけるよう安全に運用してまいります。



当院は敷地内禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願いします。